

稲作情報(Vol.4)

令和2年7月2日
宮城県石巻農業改良普及センター
石巻地方米づくり推進本部
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

気象経過

- ◎ 田植え後、5月20日ごろに低温少照の期間がありました。それ以降、6月中旬まで高温多照が続きました。その後、6月下旬になり気温は低め、日照時間は少なく経過しました。
- ◎ 6月下旬の平均気温は平年差+0.5℃とやや高くなりましたが、日照時間は平年比56%と少なくなりました。
- ◎ 東北南部の梅雨入りは、平年より1日早い6月11日ごろと発表されています。降雨の少ない日が続き、6月下旬の降水量は平年に比べ40%と少なくなりました。

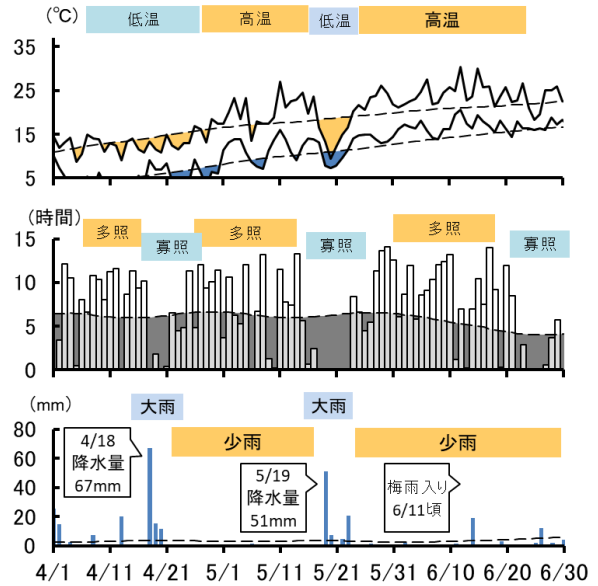


図1 田植え後の気象経過(アメダス石巻)

生育調査ほの生育状況(7月1日現在)

- ◎ 7月1日のひとめぼれの草丈は53.0cm(平年比105%)と平年に比べやや長く、1㎡当たり茎数は550本(平年比88%)と少なく、主稈葉数は10.5枚(平年差+0.2枚)とやや多く、葉色はSPAD値で42.3(平年差-0.9)となっています。(表1)
- ◎ ササニシキの草丈は47.0cm(平年比103%)と平年並み、1㎡当たり茎数は502本(平年比88%)、主稈葉数は9.6枚(平年差-0.4枚)と少なく、葉色は41.0(平年差+0.9)となっています。(表1)

表1 生育調査ほの調査結果(7月1日現在)

品種	調査ほ場	草丈 (cm)		茎数 (本/㎡)		葉数 (枚)		葉色 (SPAD値)	
		前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	前年差	平年差
ひとめぼれ	石巻広淵	51.9	107	507	78	10.4	+0.2	40.1	-3.2
	東松島小松	54.0	103	592	71	10.5	-0.3	42.8	-1.9
	平均	53.0	105	550	74	10.5	-0.1	42.3	-2.6
ササニシキ	石巻寺崎	45.4	92	454	59	9.5	-0.5	39.6	-2.5
	石巻稲井	48.5	105	544	101	9.6	-0.5	41.2	+0.6
	平均	47.0	98	502	77	9.6	-0.4	41.0	-1.0

注) 平年値は過去5か年の平均。

移植日および葉数の前年差および平年差の「+」は遅い、「-」は早いを表す。

〔ひとめぼれの生育経過〕

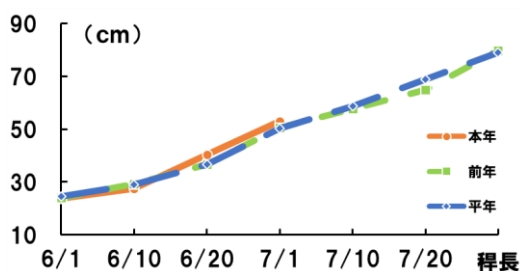


図2 草丈

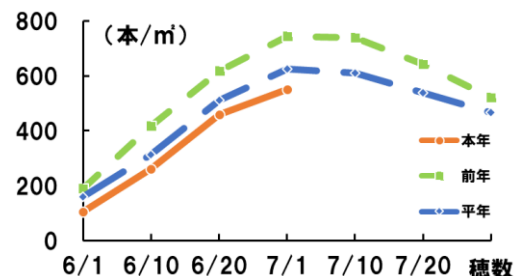


図3 茎数

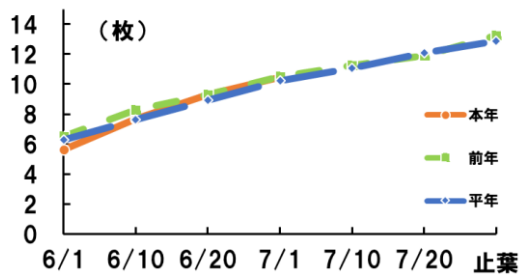


図4 葉数

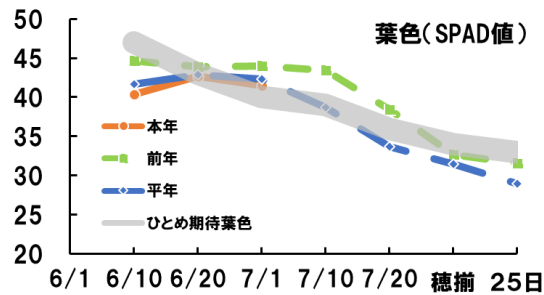


図5 葉色

〔ササニシキの生育経過〕

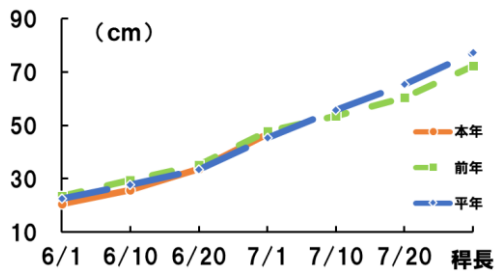


図6 草丈

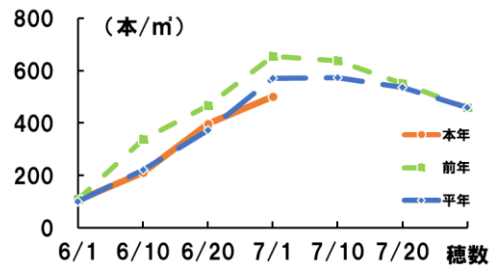


図7 茎数

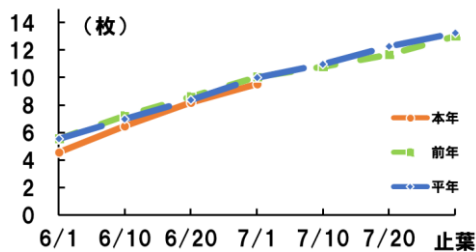


図8 葉数

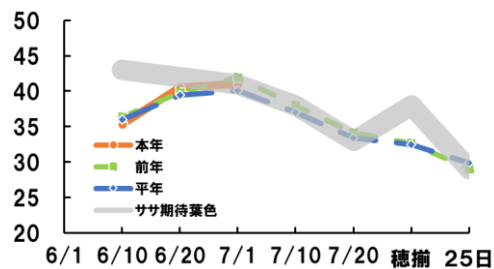


図9 葉色

乾田直播展示ほの生育状況(7月1日現在)

◎ 6月下旬は日照時間が少なかったため、1㎡当たり茎数が、桃生ほ場では平年よりも少なく（平年値は過去5年間の平均値）、河南ほ場では、前年よりも少なくなっています。北上ほ場でも2ほ場と同じように生育しているとみられます。

表2 乾田直播調査ほの生育状況(7月1日現在)

品種	調査ほ場	年度	播種日(月/日)	出芽揃日(月/日)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉数(枚)	葉色(SPAD値)
ササニシキ	石巻市北上	本年	4/7	5/15	36.4	404	9.0	38.8
ササニシキ	石巻市河南	本年	4/7	5/15	43.6	489	8.4	35.9
		前年	4/20	5/13	41.1	509	8.2	37.9
ひとめぼれ	石巻市桃生	本年	3/27	5/12	40.9	397	8.2	37.9
		H30	4/3	5/13	41.4	519	8.2	40.7
		平年	4/13	5/18	39.4	483	8.4	38.3

注) (参考)ひとめぼれの平年値は生産者と品種が同じで、ほ場が異なる5か年の平均値。



写真1 乾直北上ほ場
(7月1日)



写真2 乾直河南ほ場
(7月1日)



写真3 乾直桃生ほ場
(7月1日)

だて正夢・金のいぶき展示ほの生育状況(7月1日現在)

- ◎ だて正夢は、草丈58.0cm(過去3年間の平均値比107%)、1㎡当たり茎数505本(同90%)、葉色(SPAD値)は46.5(過去3年間の平均値との差+3.3)、主稈葉数は10.6枚(同+0.3枚)となっています。(表3)
- ◎ 金のいぶきは、草丈57.5cm(前年値比118%)、1㎡当たり茎数560本(前年比94%)、葉色(SPAD値)は39.5(前年差-2.5)、主稈葉数は11.1枚(前年差+0.4枚)です。(表3)

表3 「だて正夢」及び「金のいぶき」普及展示ほの調査結果(7月1日現在)

品種	調査ほ場	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
だて正夢	東松島 小松	R2	58.0	505	10.6	46.5
		前年	56.4	626	9.8	47.3
		過去3カ年	54.4	561	10.3	43.2
金のいぶき	石巻 蛇田	R2	57.5	560	11.1	39.5
		前年	48.8	597	10.7	40.0

注)だて正夢の「過去3カ年」は、H29～R1までの3カ年の平均値。



写真4 だて正夢(7月1日)



写真5 金のいぶき(7月1日)

今後の管理

1 水管理 ～ 中干しの終了とその後の水管理 ～

- ◎ 中干しの目安は、土の表面に軽くひび割れが入り、歩くと軽く足跡が残る程度です。幼穂形成期から出穂期にかけては、葉からの蒸散量が多く吸水量も多くなるので、幼穂形成期始期(出穂25日前)頃までには中干しを終了しましょう。
- ◎ 中干し後に急に湛水状態にすると、土壌が強還元状態になって根腐れを起こすことがあるので、中干し直後のかん水は走り水程度に行い、その後は入水と自然落水を繰り返す間断かん水が基本です。

【今後の水管理のポイント】

- 復元田など過繁茂となりやすく倒伏が心配されるほ場では
 - ➡ 根の健全化と茎の充実による倒伏軽減を図るため、飽水管理（足跡の水がなくなったらごく浅めに入水）を行う。
- 直播栽培では
 - ➡ 必要莖数を確保したら直ちに中干しを行う。特に湛水直播栽培（鉄コーティング表面播種等）では倒伏防止のため移植より強めに中干しする。
- 除塩ほ場では
 - ➡ 作土の塩分濃度が高くなる可能性があるため、田面を乾かし過ぎないように注意する。
- 低温が予想されるときは
 - ➡ 幼穂形成期から出穂・開花までの期間は低温による障害を受けやすいので、天気予報に注意し、日平均気温20℃以下又は最低気温17℃以下の低温が続くと予想

2 幼穂形成期追肥

- ◎ 次の「幼穂形成期追肥のポイント」を参考に、葉色やほ場条件などに注意しながら実施の有無を判断しましょう。
- ◎ 幼穂形成期以降の極端な葉色低下は、登熟期の窒素栄養状態を悪化させ、玄米品質の低下を招くので、必要に応じて追肥を行い、適切な葉色管理に努めましょう。

【幼穂形成期追肥のポイント】

- 幼穂形成期追肥の目的
 - ➡ 幼穂形成期追肥の目的は、1穂数増加、分けつ減少防止による穂数の増加であり、莖数が不足している場合に効果が高い。
 - ➡ 生育量が過剰な場合には、倒伏の危険性が高まるので注意！
- 品種に適した追肥時期・追肥量（表4参照）
 - ➡ ササニシキ、みやこがねもちは倒伏しやすいので、原則として幼穂形成期追肥は行わない。
 - ➡ つや姫の幼穂形成期はひとめぼれより10日程度遅いので注意！
- 基肥やほ場の地力を考慮
 - ➡ 基肥一発肥料を使用した場合、追肥は基本的に不要。
 - ➡ 黒泥や強グライ土、復元田では、生育後半に地力窒素が出るので注意！
 - ➡ 湛水直播栽培は倒伏しやすいので、幼穂形成期追肥は控える。
- 有機質を含む肥料を追肥するときは
 - ➡ 有機入り化成肥料は通常の化成肥料より肥効が遅く、また有機質肥料の割合が大きいほど肥効の発現が遅くなるので、使用する肥料の特徴を十分理解し、追肥時期を判断する。

表4 幼穂形成期追肥の生育量の目

品種	草丈 (cm)	莖数 (本/㎡)	葉色 (SPAD値)	窒素成分追肥量 (kg/10a)	施用時期
ひとめぼれ	56～59	470～530	38～40	1.0	出穂前 25～20日頃
ササニシキ	62～68	720～760	34～36	0.0	
まなむすめ	65～70	580～600	35～37	2.0	
つや姫	70～75	550～580	35～37	2.0	
だて正夢	64～70	390～460	40～42	1.0 (※2)	
金のいぶき	65～70	570～620	33～35	1.0	

※1 環境保全米では化成肥料窒素の施肥量の上限が決められているので注意してください。

※2 だて正夢は幼穂形成期に生育量の目安に達している場合は、幼穂形成期追肥は行わず、減数分裂期追肥2kg/10aを目安とする。

3 いもち病対策 ～ 葉いもち発生量は「平年並」の予想 ～

◎ 県内の葉いもち発生量は「平年並」、発生開始期は平年並の7月第2半旬と予想されています(6月26 宮城県病害虫防除所発表)。

◎ アメダス資料による感染好適日の推定では、6月中旬に県内の一部で、「いもち病感染の好適条件」が出現しています。水田の見回りをこまめに行い、葉いもちの早期発見に努めましょう。

4 斑点米カメムシ類対策

～ 出穂10日前までには草刈りを！ ～

◎ 雑草や牧草の刈取りは早めに実施し、出穂の10日前までには終わらせましょう。

表5 (参考) 令和元年の管内の出穂期

地帯区分	始期	盛期	終期
石巻地域 (平年差)	8月1日 (+4日)	8月3日 (+3日)	8月7日 (-2日)

※ 平年は平成27年から令和元年までの5か年の平均
 ※ 出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稲作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日

東北地方1か月予報

(6月27日から7月26日までの天候見通し)

令和2年6月25日 仙台管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>
 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

<向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%)>

【気温】	10	30	50
【降水量】	20	40	40
【日照時間】	40	40	20

■低い(少ない) ■平年並 ■高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

【1週目】	10	30	60
【2週目】	20	40	40
【3～4週目】	20	40	40

■低い ■平年並 ■高い

<予報の対象期間>

1か月 : 6月27日(土)～ 7月26日(日)

1週目 : 6月27日(土)～ 7月 3日(金) 2週目 : 7月 4日(土)～ 7月10日(金)

3～4週目 : 7月11日(土)～ 7月24日(金)